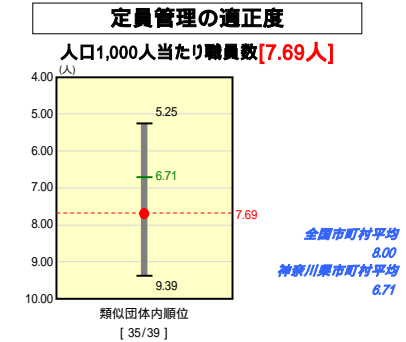
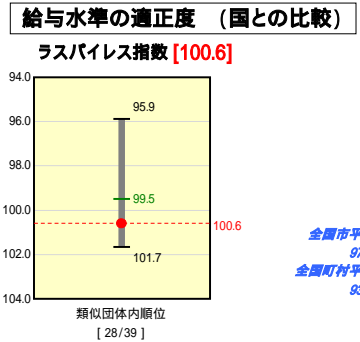
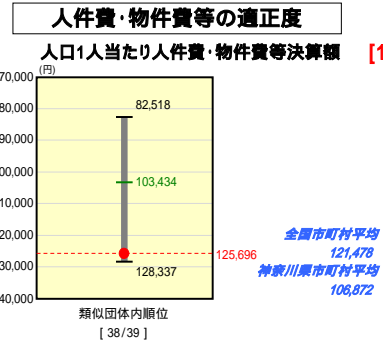
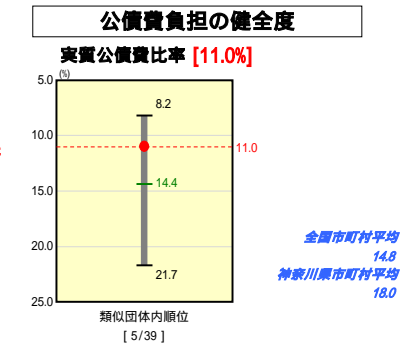
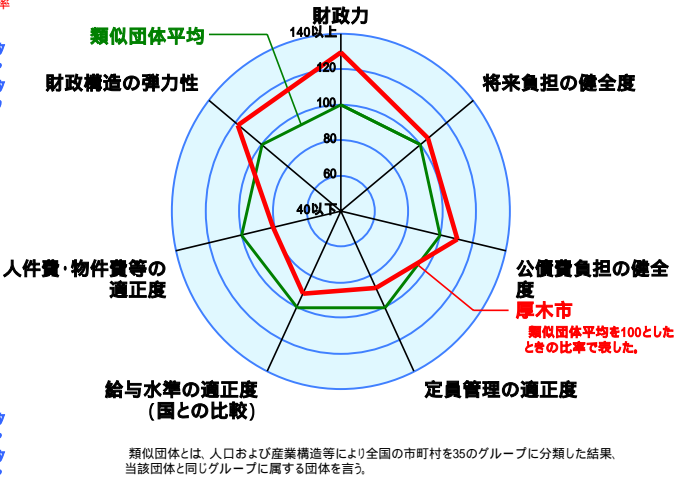
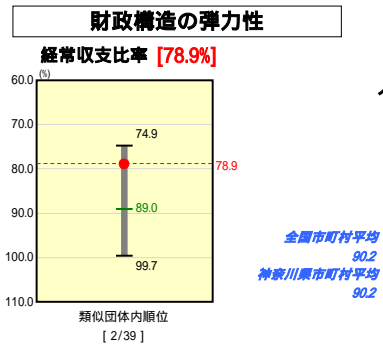
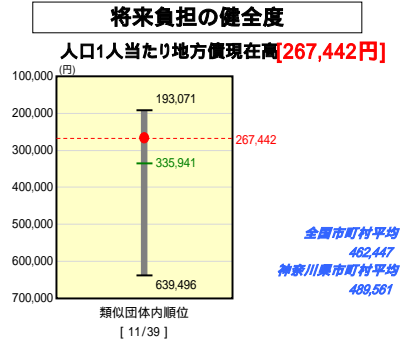
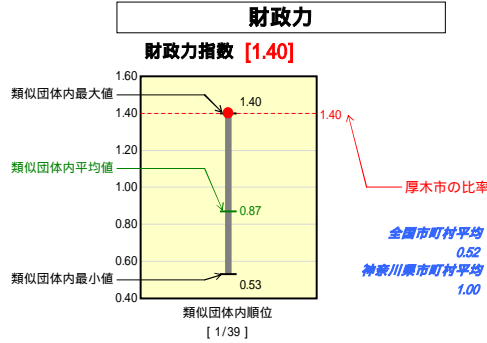


# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

## 神奈川県 厚木市

人口	217,581	人(H18.3.31現在)
面積	93.83	km <sup>2</sup>
歳入総額	78,170,859	千円
歳出総額	74,123,530	千円
	3,190,144	千円



### 分析欄

**【財政力指数】** 平成14年度以降1.3以上の水準を保っている。税収は、企業業績の良化により法人市民税の増加や個人市民税の若干の増加が見込まれるものの、固定資産税は伸び悩み、収入額としては頭打ちの状況にある。今後、喫緊の課題としての中心市街地の整備、福祉関係経費の支出増が毎年見込まれる状況等を鑑み、企業誘致等の積極的展開による歳入の確保や、歳出の徹底的な見直しに努めている。

**【経常収支比率】** 類似団体の中では良好な数値であり、前年度比でも減少傾向にあるが、福祉関係経費等の義務的経費の増により比率の増加が見込まれる。今後も、行財政改革の取組を通じ、事業の見直しを行い、義務的経費の削減に努める。

**【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】** 人件費については、今後、第2次厚木市定員管理計画に基づき、より効率的な定員管理に努めるとともに、給与体系の見直し等により適正化に努める。また、物件費等についても、行財政改革の取組を通じ、事業の見直しを行い、経費の削減に努める。

**【人口1人当たり地方債現在高】** 地方債については、元金償還金を下回る額の起債を行っているため、前年度と比較し、現在高は減少となっている。今後も、実施事業を検討しつつ起債の抑制を図り、地方債の現在高の減少に努める。

**【実質公債費比率】** 類似団体の中では、良好な数値にある。近年、元金償還金を下回る地方債の発行をしており、今後も、比率の抑制に努める。

**【人口1,000人当たり職員数】** 都市再生のための都市基盤の整備や少子高齢化対策などの新たな事業展開に対応した職員配置を実施しているが、今後、第2次厚木市定員管理計画に基づき、より効率的な定員管理に努める。

**【ラスパイレズ指数】** 近年、減少傾向にあり、国との差も僅かとなっている。今後も、国の給料表等を基本とした運用により100.0以下を目標とする。